

BLS：写真と動画でわかる一次救命処置

目次一覧

第1章 救急蘇生とは（総論，導入）

第1節 救急蘇生の目的，意義

救急蘇生の最終目標 / 医療に携わる者のコンピテンシー / 救急蘇生の原点

第2節 新しい日本版救急蘇生ガイドライン策定の経緯

ILCOR-CoSTR / 新ガイドライン

第3節 新しい日本版救急蘇生ガイドラインの主な変更点

全体を通しての考え方 / BLSの主な変更点 / 新ガイドラインに注意を喚起したい点

第4節 新しい日本版救急蘇生ガイドラインと国際的指針との相違点

心肺蘇生を行う者の分類 / 心肺蘇生を開始すべき状態 / 成人に対するBLSのアルゴリズム / ERC G2005における小児BLSの考え方 / 胸骨圧迫（push hard, push fast） / 脈あり，呼吸なしの場合の人工呼吸 / 自動体外式除細動器（AED）の電極パッドの貼付位置 / 異物除去 / 新ガイドラインの熟知を

第5-1節 院外救急システム

通報からの流れ / 通報内容 / 口頭指導 / 自動体外式除細動器（AED） / 救急隊到着 / ドクターカー制度 / 通報による特別な取り決め

第5-2節 院内救急システム

救急事態の早期認識と救急医療システムの起動 / 迅速な一次救命処置（BLS） / 早期除細動（AEDの活用） / 迅速な二次救命処置（ALS）救急カートの整備 / 病院内救急蘇生チーム（MET） / トレーニング / 院内心停止事例の記録（院内ウツタイン様式）

第2章 一次救命処置 (BLS ; Basic Life Support)

第1節 基本的 BLS アルゴリズムの概説

主に日常的に蘇生を行う者，ALS を習得する者とは / 成人の定義 / BLS の手順

第2節 4つの心停止，心停止の疫学

4つの心停止 / 心停止の疫学

第3節 チーム医療

救命の連鎖におけるチーム医療の構成メンバー / チーム治療が展開されるために必要なもの / 救命の連鎖におけるチーム医療を円滑に行うためには / チーム医療を行うための環境の整備 / さらによりよいチーム医療をめざすために

第4節 BLS 開始の判断のポイント

蘇生開始の初動 / 病院内救急蘇生チーム (MET) / 病院内救急コールの重要性

第5節 用手的気道確保

心停止状態での医療器具を用いた用手的気道確保とは / 器具を用いない気道確保 / 器具を用いた気道確保 / 気道異物 (主に喀痰) 除去のために

第6節 人工呼吸 - 口対口人工呼吸，口対鼻人工呼吸，胸骨圧迫なしの人工呼吸法，ポケットフェイスマスクを使った人工呼吸法 -

呼吸の確認 / 口対口人工呼吸 / 口対鼻人工呼吸 / 胸骨圧迫なしの人工呼吸 / フェイスシールド / ポケットフェイスマスクを使った人工呼吸法 / 人工呼吸は必要か？

第7節 人工呼吸 - バッグ・バルブ・マスクを使った人工呼吸法 -

バッグ・バルブ・マスク / 小児用 BVM / 換気方法

第8節 胸骨圧迫と人工呼吸

胸骨圧迫 / 心肺蘇生法 (CPR)

第9-1節 自動体外式除細動器 (AED) の基本的な原理

除細動の歴史 / 電気ショック (除細動) とは / 心室細動に対する電気ショックの作用機序 / AED の原理 / 電気ショックのパターン / 単相性と二相性のメカニズム / 通電に影響を与える因子 / AED の電圧・電流はどのくらいか？

第 9-2 節 自動体外式除細動器 (AED) 使用方法の概説

AED の置き場所 / 電源 / パッドの準備 / リズムの解析 / 通電 / ショック後の対応

第 9-3 節 各社自動体外式除細動器 (AED) の使い方とその特徴

日本光電工業株式会社 (AED - 9100, 9200) / 日本メドトロニック株式会社 (LIFEPAK 500B, LIFEPAK Crplus) / 株式会社フィリップスエレクトロニクスジャパン (ハートスタート FR-2+, ハートスタート HS-1) / 日本の AED の今後

第 9-4 節 自動体外式除細動器 (AED) の特殊状況

小児への使用 / 水濡れへの対応 / 貼付薬剤への対応 / ペースメーカー, 埋め込み型除細動器 (ICD) 埋め込み患者への対応 / 多毛 (胸毛) への対応

第 10-1 節 小児・乳児の BLS - 総論, 救命の連鎖 -

小児・乳児の心停止と予防 / 迅速な BLS / 小児・乳児 BLS 普及のための戦略

第 10-2 節 乳児の BLS - 乳児の心肺蘇生 -

発見時の対応 / 気道の確保, 呼吸と心停止の確認 / 人工呼吸 / 胸骨圧迫の方法 / 2 人法での心肺蘇生 / 心肺蘇生の交代, 中止基準 / 胸骨圧迫のみの心肺蘇生 / 反応はないが呼吸がある場合 / 呼吸はないが脈を確実に触知できる場合 / 病院前搬送における新生児の対応

第 10-3 節 小児の BLS - 小児の心肺蘇生 -

小児の心肺蘇生 / 胸骨圧迫のみの心肺蘇生 / 呼吸停止への対応 / 徐脈への対応

第 10-4 節 体位管理

腹臥位からのログロール / 救助者 1 名で行う体位変換 / 回復体位 / そのほかの体位管理

第 11 節 気道異物・分泌物除去

窒息の症状と特徴 / 異物除去の手順 / 傷病者の反応があるときの対処法 / 傷病者の反応がないとき, なくなったとき / 異物・分泌物除去法

第 12 節 外傷・溺水・低体温の BLS

外傷 / 溺水 / 低体温

第3章 ウツタイン様式によるデータ収集，事例の検証システム

第1節 ウツタイン様式による記録とは

ウツタイン様式とは / ウツタインの与えた影響

第2節 ウツタイン様式によるデータ収集，事例の検証システム - 院外 -

救命の連鎖（地域の救急システム）の検証 / 今後の展望

第3節 ウツタイン様式によるデータ収集，事例の検証システム - 院内 -

記録用紙と記入について / ウツタイン様式によるデータ収集は事例検証システムの基礎

第4章 蘇生にまつわる事項

第1節 蘇生と倫理，救助者の心理

傷病者の権利と医療従事者の義務 / 事前指示とリビングウィル，尊厳死，心停止時の蘇生を行わない（DNAR）指示について / 救助者の心理について / 心肺蘇生と法律

第2節 蘇生の断念

蘇生処置を開始すべきでない状況 / いったん始めた蘇生処置を中止してよいのはいつか / 医師が蘇生の断念を決断する条件

第3節 DNAR（Do Not Attempt Resuscitation）

DNAR とは / DNAR 指示 / DNAR 指示の連絡システム / DNAR 指示のある患者への CPR 開始 / DNAR とリビングウィルの違い

第4節 法的問題

免責制度 / 救急蘇生行為に関する法律

第5章 技術の習得・維持

第1節 講習会について

講習会の実際 / 効果的な講習会のポイント

第2節 蘇生教育と成人教育

成人学習を促進する 10 のポイント / フィードバック / インストラクター（指導者）の心得 / 教えることは学ぶこと / 半年経っても受講生の記憶に残る指導とは / 市民指導上の注意点

DVD 目次

1. 新ガイドライン改訂の要点～ CPR に関して～
2. 成人の心肺蘇生
3. バッグ・バルブ・マスク（BVM）
4. 新ガイドラインの要点～ AED に関して～
5. 自動体外式除細動器（AED）（ガイドライン 2005 対応機種）
6. 乳児・小児の心肺蘇生
7. 気道異物（FBAO）
8. チーム蘇生

